

令和 7 年度行政評価《施策評価調書》

テーマ	3 強みを生かした産業振興によるにぎわいのまち（産業振興）		
施策	7 雇用・労働		
所管部	産業港湾部	関係部	総合政策部

Ⅰ 施策の概要と実施状況

施策の 目的	働きやすく安定した雇用の実現により、所得の向上を図るとともに、就業機会の充実した、働くことを希望する全ての市民が活躍できるまちを目指します。
--------------------------	---

市民アンケート指標の推移										
働きやすいと感じている市民の割合							基準値(R1)		目標値(R10)	
							15.0%		基準値より増	
実績	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10
	15.0%	-	16.3%	-	12.9%	-	24.8%			

[illegible]

[illegible]

(4) 労働環境の整備 ○労働環境の実態を把握するための調査を実施（産業港湾部商業労政課） ○労働時間や最低賃金、労働安全衛生などに関する制度等の周知及び啓発（産業港湾部商業労政課） ○労働関係法令の遵守、適正な労働条件の確保など、外国人雇用に関する制度等の周知及び啓発（産業港湾部商業労政課） ○勤労者福祉向上のための共済制度の推進（産業港湾部商業労政課）	労働者地元定着事業費	産商業	継続	適正な労働環境であると感じている市民の割合（アンケート）							基準値(R1)		目標値(R10)	
	(3-7(2)共通)										13.1%		基準値より増	
	勤労者共済会補助金	産商業	継続	実績	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10
				13.1%		-	14.6%	-	11.3%	-	20.9%			

II 各部評価（各部による自己評価）

施策の進捗 ・すべての主要施策について、おおむね計画どおり事業を実施している。 ・特に「地域企業魅力発信支援事業」では、事業に参加する学生の数が増加傾向にあり、市内企業の認知度向上に寄与できていると考えている。 ・一方で、少子高齢化に伴う人口減少により、市内事業所における人手不足は深刻な状況となっていることから、UIターン求職者など、より市内外に向けた市内事業所の魅力発信が必要と考えている。 ・指標「働きやすいと感じている市民の割合」「適正な労働環境であると感じている市民の割合」は増加していることから、各市内事業所が自社の魅力向上に努めている成果だと推察される。 ・UIターン希望者の移住相談及び移住者は増加傾向である。
効果の発現状況 ・「新規高卒者の市内就職割合」は改善されており、市内企業の認知度向上や情報発信に力を入れたことが一定程度寄与していると推察される。 ・相談者、移住者のなかには、UIターンの者もあり、相談及び移住者数はセンター開設前と比べて増加傾向であることから、一定の効果があったものとする。
構成事業の妥当性 ・安定した雇用の確保や多様な人材の就労支援と地元定着の促進などを進めるに当たって、事業の方向性は妥当と考える。
その他（必要に応じて記載）

今後の施策改善の方向性 ・安定した雇用の確保のためには、ミスマッチを防ぐために、広く市内事業所を知っていただく必要があることから、引き続き市内事業所の魅力発信への支援を継続するとともに、より効果的な発信方法や機会の提供について検討を行っていく。 ・特に生産年齢人口のうち、若年層の市外流出が進んでいることから、広く若年層に向けた市内事業所とのマッチング支援策などの検討を行っていく。 ・市内事業所の人手不足解消のためには、多様な人材の活躍が必要となっていることから、多様な人材の就労支援として、女性や高齢者、外国人材など、それぞれの事情や課題に即した柔軟な発想で支援策の検討を図っていく。 ・UIターンを含む移住希望者の就業機会拡大を図るため、別事業ではあるが、移住支援金登録事業者の増加に向け、小樽商工会議所と連携を行っていく。
--



III 二役フィードバック

各部評価に対する意見等
